

# 公開シンポジウム「黄砂・沙漠緑化・草地保全・人工降雨研究の最前線」

(参加費：無料、講演要旨：有料)

主催：日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会・日本沙漠学会・(独)国際農林水産業研究センター (予定)

日 時：2010年3月2日(火) 14:00～17:00

場 所：(独)国際農林水産業研究センター国際会議場(茨城県つくば市大わし1-1)

プログラム：

14:00～14:10

開会挨拶 真木 太一(日本学術会議会員 風送大気物質問題分科会委員長、日本沙漠学会会長、筑波大学 北アフリカ研究センター、九州大学名誉教授)

飯山 賢治((独)国際農林水産業研究センター理事長)

14:10～15:30

座長：青木 正敏(日本学術会議連携会員、東京農工大学大学院共生科学技術研究院)

(1) 方格沙障法を基盤技術とした流動砂丘の緑化と黄砂発生防止のための草地保全による GHG シンク強化 飯山 賢治((独)国際農林水産業研究センター)・金 貞福(中国浙江林業大学)

(2) モンゴルにおける草地保全と畜産経営の両立を目指した研究・調査の紹介

鳥山 和伸((独)国際農林水産業研究センター)

15:40～16:55

座長：早川 誠而(日本学術会議連携会員、山口大学名誉教授)

(3) 黄砂・沙漠化防止用草方格の気象改良と沙漠緑化への人工降雨普及の可能性

真木 太一(日本学術会議会員、筑波大学 北アフリカ研究センター、九州大学名誉教授)

(4) 過冷却積雲への液体炭酸撒布人工降雨実験ー山口県長門市沖での実施例ー

脇水 健次(九州大学大学院農学研究院)

16:55～17:00 閉会挨拶：鈴木 義則(日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授)

連絡先：〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 北アフリカ研究センター

真木 太一 Tel・Fax：029-853-6442 E-mail：[maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp](mailto:maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp)